

これまで秘密のベールに 包まれていた名門が 遂に初来日!

<1809年、ロシア皇帝により創設>

チャイコフスキー、リムスキー=コルサコフ、ラフマニノフなどが活躍し、
現在もネトレプコ等の大スターが出演する旧ソ連の名門

ウクライナ国立オデッサ歌劇場

ポロデン
歌劇

イーゴリ公

優美な奴隷が歌い踊る「だったん人の踊り」、
アリア「疲れた心に安らぎもない」などの名曲が満載
壮大なスケールで贈るスペクタクル・ロシア・オペラ



指揮：ワシーリー・ワシレンコ
ウクライナ国立オデッサ歌劇場管弦楽団・合唱団・バレエ団

2012年1月13日(金) 午後6時開演
武蔵野市民文化会館大ホール (字幕付き)

一般料金 S席12,000円 A席10,000円 B席 **完売**
アルテ友の会 S席10,000円 A席 9,000円 B席 **完売**
(友の会には年会費1,000円で、チケット申し込みと同時に入会できます)

栄光のバッハ

バッハが音楽監督を務めた聖トーマス教会で開催される、
権威あるライブツィヒ国際バッハ・コンクール優勝。

ジョン・スコット オルガンリサイタル

プログラム
J.S.バッハ
前奏曲とフーガ ハ短調 BWV546、
幻想曲ト長調 BWV572 ほか

ロンドン・セントポール大聖堂のオルガニストを四半世紀にわたり務めた、現代ヨーロッパ屈指のオルガニスト。エリザベス女王がロイヤル・ヴィクトリア勲章を授与。ハイペリオン・レーベルなどからCDを多数リリース。現在、ニューヨーク聖トーマス教会オルガニスト。



2012年2月27日(月)
午後7時開演
武蔵野市民文化会館小ホール
全席指定1,500円

公益財団法人 武蔵野文化事業団

www.musashino-culture.or.jp

●チケットのお申し込み

☎ 0422-54-2011

●チケット取り扱い窓口

●武蔵野市民文化会館 ●武蔵野芸能劇場 ●武蔵野公会堂 ●武蔵野スイングホール
●吉祥寺シアター ●吉祥寺市政センター ●武蔵境市政センター ●中央市政センター

紙上の技法学

筑波大学所蔵 石井コレクション

2012年

1月7日(土) — 2月19日(日)

休館日=1月25日(水)

協力=国立大学法人筑波大学



加納光於 《葡萄の葉》 1967年 レリーフプリント



大沢昌助 女性像 1984年 コラージュ



瑛九 蟻のあしあと
1956年 リトグラフ

作品はすべて筑波大学・
石井コレクション

筑波大学が所蔵する石井コレクションは、株式会社図書館流通センター相談役・石井昭氏によって収集され、絵画・工芸あわせて200点余りにも及びます。絵画部門には平面芸術の技法を深く研究しながら前衛的な作品を発信し続けた瑛九や、ジャンルにとらわれぬ多才な芸術活動で脚光を浴びた池田満寿夫、上野駅の大使画で知られる猪熊弦一郎などの巨匠が名を連ねています。また工芸部門には、江戸時代の有田焼から板谷波山や小山富士夫まで、日本が生んだ逸品のほか、明・清時代の景德鎮陶磁、高麗青磁や朝鮮白磁など、東アジアの名品がそろっています。

筑波大学の研究・教育に資するものとして石井氏から寄贈されたことを受け、この貴重な作品群は適切な保存・修復処置が施された上で、同大学により学術的な調査・研究を重ねられ、その成果は展示やワークショップにより積極的に発信されてきました。学外においてもこのコレクションへの評価は高まっており、2007年には茨城県つくば美術館で開催された日本近代洋画を概観する企画の一翼を担い、2011年には茨城県陶芸美術館の東洋陶磁展で工芸部門が一挙に公開されたばかりです。

県外初の石井コレクション展となる本展覧会では、絵画コレクションのうち、紙を支持体にした作品51点を選びました。キャンバスや板に比べ、紙は傷みやすくデリケートな素材であると同時に、誰にも親しみやすい素材です。そのバリエーションも豊富で、さまざまな顔料に柔軟に適應します。そのため数多くの画家たちがさまざまな技法を試み、多くの表現手段を編み出してきました。そしてこれからも、豊かな表現世界が広がっていく無限の可能性をはらんでいるのです。その歴史の中から今回は20世紀後半の日本で生まれた色とりどりの作品をご紹介します。普段特に意識されることのない、紙という身近な素材の懐の深さを改めて感じながら、さまざまな技法・材料を活かした多彩な表現を楽しんでいただけたらと思います。

記念室のご案内 2012年2月19日(月・祝)まで

●浜口陽三記念室

まっすぐな線と円やかなかたち

「まっすぐ」な線の要素を巧みにその構図に組み込むことで、うさぎや毛糸玉、果物などのモチーフの円やかさが引き立つ作品を展示。

毛糸 1978年



●萩原英雄記念室

きこえてくる、響きあう

対象物のある空間全体を、色や線が複雑に重なりあう版画で表現しようとした萩原作品の中から「音」をテーマに紹介。

サーカス No.1 1968年



次回展のご案内 2012年4月1日(日)~5月13日(日) 3月は市民ギャラリーとして貸出中のため美術館主催の企画展はありません。

石川梵写真展 THE DAYS AFTER 東日本大震災の記憶 (仮称)

写真家・ノンフィクション作家の石川梵による東日本大震災の取材と撮影から。



武蔵野市立吉祥寺美術館

〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-8-16 F&Fビル(コビス吉祥寺A館)7階 ☎0422-22-0385
ホームページ http://www.musashino-culture.or.jp/a_museum/

開館時間：午前10時～午後7時30分

休館日：毎月最終水曜日(祝日の場合は翌日)

年末年始・展示替えおよび特別整理期間

入館料：100円(小学生以下・65歳以上・障がい者は無料)

■交通案内 / JR、京王井の頭線「吉祥寺駅」中央口下車 徒歩3分